

一般財団法人千葉陸上競技協会

第10回理事会議事録

平成27年12月19日
一般財団法人千葉陸上競技協会

代表理事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第 10 回理事会

日 時 平成 27 年 12 月 19 日(土)午前 10 時
会 場 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所
出席状況 出席 24 名 欠席 8 名 計 24 / 32

決定事項

- (1) 栄章贈与候補者
- (2) 第 50 回千葉県記録会・第 71 回国体陸競技会第一次選考会要項

議事内容

1 開会 午後 10 時 00 分

2 定数確認 (高木専務理事)

定数 32 出席 24 名 欠席 8 名 計 24 / 32

定款第 37 条により、本理事会は成立。

3 会長挨拶 (大岩前会長)

(要旨) 年末のお忙しい中今年最後の理事会にご出席いただき感謝する。今年度の本協会の事業は順調であった。本日は次年度の事業等について審議をいただく。よろしくお願ひする。

4 議長選出

高木専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第 36 条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である大岩会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

大岩代表理事から説明があった。

- ・定款第 41 条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしくお願ひする。

6 議事

議案（１）栄章贈与候補者（案）

議長から、議案（１）について、高木専務理事に説明するよう指示があった。

（高木専務理事）

本日 9 時 30 分より栄章委員会を開催した。贈与候補者は次のとおりである。

- ・ 高校優秀指導者章贈与候補者 浅野真吾（西武台千葉高等学校保健体育科教諭）
実績 染谷翔選手
第 70 回国民体育大会少年男子 A 400 m 優勝 47 秒 64
- ・ 中学優秀指導者章贈与候補者 福井康則（茂原市立富士見中学校国語科教諭）
実績 平野壮太選手
平成 27 年度全日本中学校陸上競技選手権大会 100 m 優勝 10 秒 79
- ・ 高校優秀選手賞贈与候補者 新井拓摩（柏日体高等学校）
第 70 回国民体育大会少年男子 A 棒高跳優勝 5 m 10
- ・ 中学優秀選手章贈与候補者 平野壮太（茂原市立富士見中学校）
平成 27 年度全日本中学校陸上競技選手権大会 100 m 優勝 10 秒 79

議長から提案について質問、意見が求められたが特になかった。

全員異議なく承認された。

議案（２）平成 28 年度行事予定（案）

議長から、議案（２）について、市東総務委員長に説明するよう指示があった。

（市東総務委員長）

- ・ 4 月 3 日（日）審判講習会
「千葉アクアラインマラソン審判講習会」として実施する。
- ・ 4 月 9 日（土）県記録会事務局会議
施設が整った場所で開催するため千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催する。
- ・ 4 月 16 日（土）17 日（日）23 日（土）24 日（日）
千葉県記録会を実施する。配布資料の訂正をお願いする。この 4 日間のいずれかで理事会を開催するが、日程は決定していない。
- ・ 5 月 28 日（土）29 日（日）6 月 4 日（土）
高体連が中心となって運営する。
- ・ 5 月 22 日（日）千葉県障害者スポーツ大会
例年この日程には高校総体が実施されていたが、障害者スポーツ大会の日程変更は県の行事でもあり難しく、高体連の協力もあり前週の 5 月 12 日（木）から 15 日（日）の 4 日間に高校総体が開催されることとなった。

- ・ 6月25日（土）26日（日）千葉県選手権を開催する。
 日本選手権と重複する日程であるが、関東高校大会との関係もありこの日程となった。
 プログラム編成のための事務局会議は18日（土）千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催する。理事会及び評議員会をこの日程で予定しているが、5月開催も検討しておりまだ決定してない。
- ・ 7月9日（土）クラブ対抗、7月10日（日）全国小学生交流大会千葉県選考会
 プログラム編成事務局会議は7月2日（土）に千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所で開催する。
- ・ 8月6日（日）国体最終選考会
 プログラム編成事務局会議は7月23日（土）に千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所で開催する。
- ・ 8月19日（金）～21日（日）第89回関東陸上競技選手権大会
 本年度は千葉開催で練習日を含め18日（木）から4日間の日程、プログラム編成事務局会議を7月26日（火）に千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催する。
- ・ 9月3日（土）東日本女子駅伝選考会
 選考会議を含め、同日に事務局会議を開催する。
- ・ 10月8日（土）千葉県陸上競技秋季記録会
 プログラム編成事務局会議は10月1日（土）に千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所で開催する。
- ・ 10月9日（日）ちばキッズ陸上競技大会
- ・ 10月16日（日）全国小学生クロカンリレー予選会
- ・ 10月23日（日）ちばアクアラインマラソン2016
- ・ 10月30日（日）千葉県民体育大会
 千葉県体育協会主催である。アクアラインマラソンとの関係でこの日程となった。
- ・ 11月23日（祝・水）中学生都道府県対抗駅伝選考会
 正式名称は決定していない。この日程で開催しないと選手選考間に合わない。
- ・ 11月26日（土）男女都道府県対抗駅伝選考会
 選考会議を含めた事務局会議を同日開催する。
- ・ 12月3日（土）委員長会議
- ・ 12月17日（土）理事会
- ・ 1月21日（土）事務局会議
 本年度から国際クロスカントリー大会がなくなり中学生クロスカントリー大会となる。来年度は第2回大会である。
- ・ 2月未定 中学生クロスカントリー大会
 福岡県開催の日本選手権クロスカントリー大会の日程が未定であり、その結果による。
 2月18日（土）19日（日）となった場合は、同日予定の新B級公認審判員取得講

習会の日程を調整する。

・ 3月25日（土）理事会

年度当初の記録会の提案から訂正があり申し訳ない。よろしく願います。

議長から提案について質問、意見が求められた。

（藤原副会長）

先日委員長会議があり次年度の行事予定について検討があり、それに基づき本日提案があった。年度末の理事会と定時評議員会は4月に近い日程の設定を希望した。翌年度役員改選もありできるだけその方向で設定してほしい。

国際駅伝と国際クロカン両方がなくなり遺憾である。駅伝はフジテレビががんばっていたが、千葉県状況もあり仕方がない。国際クロカンもなくなるが、会場の条件については福岡より千葉の方がよいと思うので陸連も納得のいく説明をしてほしい。これに代わる新しい大会の名称はどうなるのか。陸連が決めるのか。

（高木専務理事）

関係者で検討し、正式名称は「中学校クロスカントリー選手権」、千葉県クロカンは「CHIBA2016大会」、学生は世界選手権大会予選会である。陸連はジュニア普及育成を目指す大会としており、また同日開催の市民クロカンは千葉市内の制限を外し広く参加を可能にした。

（藤原副会長）

主たる大会名称はどうなるか。行事予定にも掲載しなければならない。主催は陸連でよいか。

（立澤競技運営委員長）

「第1回全国中学生クロスカントリー選手権大会」である。中学生中心の大会で優秀な男女の競技者を招待し開催する。主催は陸連、主管が千葉陸協である。千葉県クロカンは同大会との併催で「X-RUN」として開催する。

（藤原副会長）

行事予定については委員長会議でも検討したが、理事会及び定時評議員会について善処をお願いします。

（中村事務局員）

定例評議員会は定款17条で事業年度終了後3か月以内の開催となっており、前回は6月に開催した。5月連休明けに理事会及び評議員会の開催を考えている。

（中村理事）

4月3日（土）は千葉アクアラインマラソン審判講習会となっているが、理由は何か。

（高木専務理事）

千葉県の事業であるアクアラインマラソンのための講習会として開催することで講習会の会場を確保しやすくなる。

(中村理事)

アクアラインマラソンは隔年開催であるが、審判講習会はこの形で毎年実施するのか。

(高木専務理事)

そうである。

(長谷川副会長)

審判講習会を行う場所がない。敬愛大学を借用した時も大変であった。千葉銀行の会議室を借用したこともあった。理事の方にも活用できる会場があれば紹介してほしい。

(高木専務理事)

全国中学生クロスカントリー選手権大会は、東京マラソン、福岡のクロスカントリーとの調整となる。優先権は福岡にあり、3月以降に決定する。

(中村理事)

11月23日と26日に中学生と一般の駅伝選考会が別々に予定されているが、一緒にはできないのか。

(立澤競技運営委員長)

中学生は国際千葉駅伝記念として11月23日に開催する。

(市東総務委員長)

12月3日に関東中学校駅伝が山梨で開催される。中体連、強化委員会とも協議しこの日程を検討した。

(中村理事)

一般の予選会を23日に一緒に開催することはどうか。

(滝田駅伝部長)

直前に関東高校駅伝があり厳しい。参加を見送る選手も出ると思われ選考に影響する。

(中村理事)

別々の競技会として開催するのであれば、それぞれ参加者を増やす工夫をするのがよい。参加者が多い方が経費の面も含め順調な大会運営を行うことができる。

(立澤競技運営委員長)

参加標準記録の見直し、記録会への参加等参加者の増加に向けた工夫を検討する。

(岩脇記録部長)

「国際千葉駅伝記念」の名称は次年度どうするのか。公認大会の登録の関係もある。

(高木専務理事)

「国際千葉駅伝記念」は名称を残す、でよいか。

(長谷川副会長)

「青木半治杯」の名称はどうするか。陸連はどういつているか。

(高木専務理事)

「青木半治杯」は2014年度終了時に陸連が引き上げた。千葉にはない。

議長から提案については今後変更が予想されるため、本日は報告にとどめ継続審議とする旨決定があった。

議案（３）平成２８年度競技会要項（案）

議長から、議案（３）について、立澤競技運営委員長に説明するよう指示があったが、説明の前に藤原副会長が発言を求めた。

（藤原副会長）

競技会要項は委員長会議での反省要望等を踏まえ本日提案することになっていたが、事前の打ち合わせは行ったか。

（立澤競技運営委員長）

時間がなかったため行っていない。本日検討いただきたい。

- ・第５０回千葉県記録会、第７１回国体陸上競技会第一次選考会
種目の変更はない。参加申し込み締切日については今後検討する。申し込み先の国際駅伝事務局の名称についても検討中である。
- ・第３６回千葉県高校陸上競技記録会
高校総合体育大会を国体少年の部選考会に含め第二次選考会とする件を、１月の千葉県体育協会の会議で検討し決定する予定である。本大会は少年の部第三次選考会として申請する。種目については高体連からの案を受けたものである。
- ・第６９回千葉県陸上競技選手権大会
国体第四次選考会を兼ね、関東選手権大会の予選会としても開催する。国体種目の変更に合わせて少年Ｂ種目も変更した。
- ・第４８回クラブ対抗陸上競技大会
例年通りである。
- ・第３２回全国小学生陸上競技交流大会千葉県選考会
育成部から種目の変更の連絡あった。ソフトボール投げがシャベリックボール投げに変更予定である。
- ・平成２８年度千葉県民体育大会第二部 第７１回国民体育大会千葉県最終予選会
種目の変更があり、成年男子１種目減、少年男子Ｂ１種目減、少年男子共通１種目増、成年女子１種目増、少年女子Ｂ１種目増、少年女子共通１種目増である。成年女子の８００ｍ、５０００ｍ競歩及び走高跳には少年女子Ａからのエントリーができ、また同１００００ｍ競歩は５０００ｍ競歩に変更となった。参加標準記録は強化委員会から示される。
- ・第３２回東日本女子駅伝千葉県選考会 長距離記録会
詳細は道路競技部長と調整し３月に示す。
- ・２０１６年千葉県陸上競技秋季記録会
種目については強化委員会と協議した。変更はない。

- ・第11回キッズ陸上競技大会
育成部で詳細を検討している。
 - ・第35回都道府県対抗女子駅伝第22回都道府県対抗男子駅伝選手選考会
選考会と記録会を実施する。記録会参加者が多い。
 - ・第55回千葉県クロスカンントリー大会
日程は調整中である。種目についても男子5km女子5kmの追加を検討している。
- 議長から提案について質問、意見が求められた。

(中村事務局員)

(公財)千葉県体育協会は後援団体である。高校記録会では主催団体となっているが後援に訂正いただきたい。11月23日国際千葉駅伝記録会は千葉陸協が主催か。

(立澤競技運営委員長)

中体連と協議する。別件で、大会申込み用個票は廃止予定である。

(中村事務局員)

都道府県対抗駅伝の選考会の位置づけであれば、千葉陸協主催でないとまずい。

(立澤競技運営委員長)

主催は千葉陸上競技協会である。中体連、高体連には主催権がない。大会要項は中体連と連絡を取り早急に作成する。

(高木専務理事)

個票廃止については早期の対応が必要である。方針を決定すべきである。

(岩脇記録部長)

プログラム編成作業の際、Web 申込み一覧表記載の記録と個票記載の記録が異なることが多くどちらを信用するか確認作業に時間をとられ一本化したい。要項では Web 申し込みとなっているので一覧表の記録での作業がよい。個票の記録は信頼性が薄い。

(高木専務理事)

廃止時期を決定する必要がある。検討いただきたい。

(立澤競技運営委員長)

早めに廃止したいが、現在個票を持っている団体を把握しておらず、買い取るとなると経費の問題もある。

(岩脇記録部長)

いきなり出た、という感覚があるので平成28年度は個票を併用し、1年間の猶予を見て翌年度廃止の案内をすれば、手持ちの個票は使い切るのではないか。

(藤原副会長)

一覧表記載の徹底があればいいのではないか。

(岩脇記録部長)

個票のロスを配慮しなくてよければ、作業は一覧表のみでできる。平成28年4月からの廃止も可能である。

(中村事務局員)

Web 入力 of 導入も定着し、一覧表入力を信頼すべきである。導入時期からが移行措置と考える。統一が必要である。

(岩脇記録部長)

できれば平成28年度から廃止がよい。

(長谷川副会長)

賛成。

(塩谷理事)

当事者が作業しやすいやり方がよい。担当者に一任でよい。

(中村事務局員)

4月から廃止であることを3月に周知するようでは遅い。今から周知しなければならない。

(大岩会長)

4月からでよいか。

(岩脇記録部長)

千葉陸協主催大会のみで廃止でよいか。市町村陸上競技協会等地域主催大会は地域の判断である。

(高木専務理事)

要項からも削除する。競技運営委員会で対応してほしい。

(藤原副会長)

高等学校へは高体連委員総会で周知できる。徹底してほしい。

(長谷川副会長)

申込み方法について各団体への指導が必要である。競技運営委員会から必要な団体に指導してほしい。

(立澤競技運営委員長)

次回理事会では県記録会の申込み期日に間に合わない。県記録会要項のみ本日承認を得たい。

議長が県記録会要項のみについて承認を求め、全員異議なく承認された。その他は継続審議となった。

7 報告事項

報告事項(1) 関東陸上競技協会理事会

議長から、報告事項(1)について、高木専務理事に説明するよう指示があった。

(高木専務理事)

資料を作成した。資料に基づき説明する。平成27年8月22日関東選手権第2日に

開催された。

報告事項について

- ・全国高等学校総合体育大会報告

議題について

- ・平成27年度後期事業計画について

第19回関東高校選抜新人陸上競技大会（群馬敷島）、関東高校駅伝競走大会（千葉東総）、第24回関東中学校駅伝競走大会（千葉柏）、関東高校合宿（群馬敷島）、関東中学校合宿（栃木栃木市）、第3回関東陸上競技協会理事会（東京日本陸連）

- ・第3回関東陸上競技協会理事会

理事会後各都県専務理事の会議を実施する。

報告事項（2）2016ちばアクアラインマラソンについて

議長から、報告事項（2）について、今井実行委員長に説明するよう指示があった。

（今井実行委員長）

ちばアクアラインマラソン実行委員会第2回が12月16日（水）に開催された。

10月23日に開催された実行委員会第5回総会で大会要項が承認された。

- ・6 運営協力

特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会が車いすレースの運営協力にあたる。

- ・8 開催日時

2016年10月23日（日）9：55車イスハーフマラソン、10：00マラソン、ハーフマラソンスタートである。

- ・9 種目、定員、制限時間

種目定員はマラソン12000人（1000人減）、ハーフマラソン5000人（1000人増）、制限時間は資料記載のとおりである。

- ・10 コース

スタートは前回大会と同じ場所、フィニッシュは、ハーフマラソンは前回のアウトレット駐車場から牛込漁港内に変更された。フルマラソンは前回同様である。コースは前回と同じであるが、悪天候でアクアラインが走行不能の場合、連絡道を逆方向に距離をとりハーフは19km、フルは42.195kmを確保する。

- ・11 参加資格

高校生の参加は認めない。

- ・13 競技規則及び諸注意

大会規程を設ける。案が提示された。

- ・14 参加申込み

2016年4月5日～26日までの22日間の期間でエントリーを行う。今回はペアエントリー（2名1組）を認める。

- ・18 東京湾アクアライン交通規制時間

支障があるため、前回大会から30分短縮し5時間とする。

協議事項として、アスリートランナー招待ランナーについて、スタート方法の変更、ちばアクアラインマラソン2016大会規程の3つがあげられた。

- ・アスリートランナー招待ランナー

完走率向上のためアスリートランナーとして、陸連登録者で男子3時間30分、女子3時間50分の設定を協議したが、結論は出ず関係者で今後検討することとなった。招待ランナーとして2015年3月に川内優輝祐樹選手の内諾を得ている。県内企業大学からも千葉県縁の選手を募りたい。今後方策について検討する。

- ・スタート方法

進行方向2車線のみで前回大会はスタートしたが、警察との協議により対向車線2車線も利用し計4車線でスタートすることが提案された。東京湾アクアラインの交通規制時間が30分短縮されることに伴い、前回大会で先頭から最後尾まで25分あった時間差を10~15分に縮めるためであり、承認決定された。

- ・大会規程

大会規程が提案され承認された。次回理事会で提示する。

報告事項（3）第70回国民体育大会について

議長から、報告事項（3）について、伊東強化委員長に説明するよう指示があった。

（伊東強化委員長）

まず、各方面のご支援ご協力に感謝する。相当得点78点総合順位10位と残念な結果であったが、高校生はよく頑張ってくれた。委員長として初めて臨む大会であり課題もあるが、特に高校生は引率の関係で長期間の遠征となり集中力を切らさないよう工夫した。成年の選手は実力を発揮できず不調であった。今後の課題である

エントリー段階での課題として女子選手の強化が必要である。29名のエントリーのうち10名以上の女子選手を選考しなければならず、ジュニア選手強化をしなければならない。

選考会に県高校総合体育大会の追加を提案した。8月の国体最終予選会は全国高校総合体育大会直後で、故障等を避けるため選考会に参加しないことがある。高校生の選手選考についてはやりやすくなると思う。

報告事項（4）第31回東日本女子駅伝大会について

議長から、報告事項（4）について、滝田駅伝部長に説明するよう指示があった。

（滝田駅伝部長）

皆様の御協力により今年は優勝することができた。2時間17分27秒の記録は千葉県最高記録である。1区松崎選手はプレッシャーから失速し先頭から1分の差をつけら

れたが、2区木村選手、6区関谷選手、8区保科選手が区間賞を獲得し挽回、アンカーに1位で襷をつなぎそのまま優勝した。県内実業団の積水化学、スターツ、ユニバーサル3団体でアンカーを輪番に務めてもらえるようお願いをしたところ、今回は積水化学でアンカーを務めていただいた。来年度もこの体制で優勝を狙いたい。

京都（女子）と広島（男子）の大会については、男子は高校生では福島県に次いで強く、日清食品の若松選手をアンカーに依頼した。過去5位が最高だがメダルを狙いたい。

報告事項（5）専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長または代表が説明した。

総務委員会（市東委員長）

- ・千葉陸協要覧発行

定款規約を掲載したので取り扱いに注意願いたい。P 6 9 ~~全国都道府県駅伝選手権大会~~→選手選考会に訂正をお願いする。専門委員の住所は個人情報のため不掲載とした。

- ・千葉陸協だより第7号発行

高津副会長に寄稿願った。各専門委員会より、また高校優秀選手章に選出された新井拓摩選手からの原稿を掲載した。平成26年度千葉県最高記録章に外国人選手記録を掲載は間違いであり削除をお願いする。

- ・総務委員会活動についての反省

参加申込みから競技会運営まで全体を見直し、全体の連携を図っていく。

競技運営委員会（立澤委員長）

- ・競技会日程無事終了

- ・審判員委嘱

大会により審判員が不足した大会があり、適正配置や委嘱方法の見直しを行う。

- ・新B級審判員資格取得講習会2月21日（日）

若手教員の陸上競技関係者にB級審判員資格を呼びかけ、審判員数の増加を目指す

- ・大会運営上の反省

選手訂正、選手の抜け落ち等プログラム作成上の作業の見直しを行う。

強化委員会（伊東委員長）

- ・男女都道府県対抗駅伝

- ・1月9～10日ジュニア強化合宿

安房鴨川で実施、上位入賞者の高校生を対象に国体入賞を目標に強化合宿を行う。

施設用器具委員会（欠席）

議長より各専門委員会担当執行役員からの意見が求められた

（藤原副会長）

委員長会議の折には反省要望を前向きに受け止めるよう指示をした。それらを放置せ

ず、例えば競技運営委員会は競技会運営で矢面に立つことが多いので、データ等の点検を十分に行ってほしい。パソコンの活用は良いがそれだけでなく人の目で確認を行ってほしい。強化委員会については、東日本女子駅伝優勝は良かった。国体と違い実業団との連携は簡単ではないと思うが、都道府県対抗駅伝でも優勝を目指してほしい。施設用器具委員会は裏方として努力している。競技場の用器具は予備があるはずだが使用については県との関係が難しく、強化育成活動にも影響がないわけではない。

各委員長には苦言を呈しながらも、伸ばせる活動を伸ばしてほしいとあってある。専務理事以下、委員長及び委員一般の審判員まで信頼関係のある組織の構築を目指し、活動の活性化を図ってほしい。

(長谷川副会長)

細部にわたり総務委員長から説明があった。以前から教員が理事長及び専務理事職を務めている。学校業務との兼ね合いで、専門委員や委員長の活動も含め状況は厳しくなっている。IT化の推進や法人化にあたって社会に認められる活動を行うなど、認識を新たにすることが必要がある。さしあたり要覧の発行が一番の課題であり、掲載内容の検討等今後も整備を進める。補助金の減少も大会運営等に影響があると思われる。来年度の関東選手権では参加者を歓迎し大会運営を成功させたいので御協力いただきたい。

(高津副会長)

千葉陸協だよりの原稿でもふれたが、副会長の重責を感じている。各専門委員長も委員長会議等から反省及び課題を見出し対応するという大変な立場である。大会運営等各委員会が一体となり行っており、運営上の事項等が速やかに参加団体へ周知されそれぞれの団体で対応できるような体制づくりを目指してほしい。

(岩本副会長)

特にない。

(大岩会長)

会長あてのホットラインにはまだ一件もない。今後も何かあればホットラインを利用してもらいたい。

定款第27条第4項に基づく報告義務により業務執行理事から意見を述べた。この内容でよろしく願います。

8 その他

その他(1)

立澤競技運営委員長から、本年度S級及びA級公認審判員昇格者について承認を得るための議事について動議があり、賛同者があったため議長職権により議事として審議することとなった。

議長から、動議「S級及びA級公認審判員推薦名簿」について、立澤競技運営委員長に説明するよう指示があった。

(立澤競技運営委員長)

S級は日本陸連の推薦要件の確認を行う。12月13日(日)に競技運営委員会審判部で推薦に係る書類審査を行った。本年度候補者は7名である。

原田 幸三 氏(60歳)

簗津 潤 氏(60歳)

柏木 貢 氏(69歳)

城井 浩行 氏(60歳)

赤池 勝儀 氏(64歳)

古賀 憲治 氏(68歳)

奥田 義彦 氏(61歳)

7名とも推薦要件を満たしており、締め切りに間に合うように申請を行う。

A級は千葉陸上競技協会理事会での承認が必要である。本年度候補者は3名である。

萱野 操 氏(51歳)

永田 博彦 氏(56歳)

黒澤 強 氏(60歳)

3名とも要件を満たしており理事の皆様の審議をお願いする。

議長から提案について質問、意見が求められた。

(高木専務理事)

競技運営委員会での審査方法はどうか。今回申請があったのは何名か。

(立澤競技運営委員長)

競技運営委員長、競技運営委員会審判部員3名で申請者の審判手帳等の資料の確認を中心に行った。申請者はS級7名、A級3名である。

(長谷川副会長)

要覧には上級審判員昇格にあたり推薦者が必要と定められている。理事の皆様には推薦者となり各団体から多くの上級審判員の申請をしてほしい。

全員異議なく承認された。

その他(2)

(伊東強化委員長)

総合スポーツセンター陸上競技場の使用方法に制限が多い。競技用具及び使用時間の制限が、強化育成活動にも支障がある。千葉陸協として制限緩和を要望してほしい。

(高木専務理事)

使用方法については要望をしている。引き続き要望していく。

その他(3) 全国中学校駅伝競走大会報告について

(高木専務理事)

全国中学校駅伝競走大会が開催された。男女の成績については配布資料のとおりである。

その他(4) 第89回関東陸上競技選手権大会要項について

(立澤競技運営委員長)

関東陸上競技選手権大会が平成28年8月19日(金)～21日(日)本県主管で開催される。開催要項は配布資料のとおりであるが、現段階では案であり詳細は今後検討し決定する。正式決定後にあらためて提示する。

(高木専務理事)

1月5日(火)関東陸上競技協会理事会に要項案を提出し、その後検討を経て4月の同理事会で決定、各県に送付される。

(長谷川副会長)

実行委員会について案はあるか。

(市東総務委員長)

本年度関東陸上競技選手権大会の視察メンバーを中心に、実行委員会案を次回理事会に提出予定である。

その他(5)

(塩谷理事)

本年度千葉県民体育大会陸上競技会を鴨川市で開催した。御協力に感謝する。

国際千葉駅伝が終了し事務局はどうなるのか。審判員が減少してきており、今日審議する必要はないが、交通費の支出等について今後検討が必要になると考える。また、一部の評議員の意識に疑問がある。

その他(6)

(中村事務局員)

ちばアクアラインマラソンに対しての千葉陸協の対応はどうか、国際千葉駅伝に代わる重要な位置付けである。一部で対応するのではなく、理事会で千葉陸協内の組織作りを行い全体で対応することが重要である。

事務局と各専門委員会の業務遂行についての連携が必要である。今回の上級審判申請についてホームページの掲載はあったが、事務局への問い合わせも多い。周知は十分でない。各専門委員会での業務実施状況は報告連絡が必須であり、担当者間で直接話をすべきである。経費的物的手当てを行い業務の活性化を図るうえでも、報告や連携を徹底してほしい。

(立澤競技運営委員長)

今回の対応について指摘はもっともであり、今後このようなことが無いようにと反省している。申し訳なかった。

(大岩会長)

ただいまの発言でいくつか課題があった。次回以降理事会で検討する。

(高木専務理事)

国際千葉駅伝事務局は残務処理等もあり3月31日まで存続となる予定である。国際千葉駅伝記念誌の発行が予定されている

(中村事務局員)

アクアラインマラソン主管料はどうなるのか。千葉陸協としてどういう位置づけで大会運営をするのか。

(高木専務理事)

2016大会は実施されるが2018大会はわからない。県のトップが変わると方針も変更されることがある。

(中村事務局員)

アクアラインマラソンは経費のみであった。主管料の発生に見合う充実した大会運営のためにも、千葉陸上競技協会内の実行委員会等の組織の活性化を図るべきである。

(大岩会長)

次回理事会でアクアラインマラソンの組織について議題とする。なお、千葉陸上競技協会は競技運営の主管団体であり、協会内部の組織について検討する。

大岩会長から閉会が宣言された。

午後0時26分 閉会